

平成19年度会計報告

皆さんからの貴重な税金が、どのように使われたか知っていただくために、町では毎年財政状況の公表を行っています。今回、9月定例議会にて認定されました、19年度決算の概要をお知らせします。

家庭の収支と町の財政は、お金の使い道も規模も違います。単純な比較はできませんが、19年度の決算額82億円を、年収600万円の家庭に置き換えてみました。

辰野町の財政を家計に例えてみると…

収入

①給与 町税／町民税や固定資産税など	216万円
②パート収入 施設の使用料や手数料など	37万円
③親からの仕送り 地方交付税や国・県補助金など	282万円
④家の改築のための借入金 道路・公共施設整備などのために 国や金融機関から借りたお金	41万円
⑤貯金の引き出し 基金の取り崩し	3万円
⑥前年からの繰越金	21万円
合計	600万円
⑦貯蓄残高（基金の残高）	179万円
⑧借入金残高（町債の残高）	497万円

家計簿

わが家の

支出（1年間）

①日常生活費 食費・医療費・光熱水費など／ 人件費、扶助費、物件費、補助費など	275万円
②車の整備代 道路や施設の機能を維持するための経費	1万円
③子どもへの仕送り 公共下水道、国民健康保険、病院など他会計への繰出金	102万円
④借金の返済 過去に借りた町債の返済金	78万円
⑤家の改築費 道路整備、施設の改修経費など	47万円
⑥豪雨被害の復旧費 災害復旧事業費	70万円
⑦親戚に貸したお金 商工業者への融資など	1万円
⑧貯金 基金に積み立てたお金	9万円
合計	583万円
①差引残高（形式収支）	17万円

生活費

・・・町の財政と家計を単純に比較することは難しいことです。町の財政でも家計でも支出が増えることが分ければ、収入を増やすことや支出の見直しを行ったり、「借金（地方債残高）」を減らす努力をするでしょう。町全体の財政については別ページ等で確認してください。

次ページは、決算数値の詳細をお知らせします。

ある夫婦の会話でみてみましょう。家計簿を見ながら…

平成19年度わが家の家計はどうだったの？

何とか17万円の黒字で次の年に繰り越すことができたのよ。

今までと比較するとどうなの。

前の年は21万円、その前が19万円で少し減っちゃったのよ。

そうか、それじゃあ支出の内訳を見てみるか。全体で583万円、その内生活費①～⑧に378万円かあ。結構かかっているな。家族で稼いだお金は①+②+③で53万円しかない。ということは、不足分はどうしたんだい。

できる限り節約をしたのよ。それで繰越金と貯金の取り崩しでなんとかしたかったんだけど、借金の返済④や家の改築費用⑤などを言めると、それだけじゃ足りなくて、親からの仕送りと借金でどうにかやりくりしたのよ。でも、親からの仕送りはこれからは期待できないし、自分たちで何とかしないといけないわ。

地方交付税は年々減少

そうだな。車を買って換えたいけどまだ我慢するよ。ところで貯金はどのくらいあるの。

179万円⑦あるんだけど、まだ借金が497万円⑧あるのよ。それから医療費も年々増えそうだし、それと子どもも大きな借金をしているのよ。自分一人で何とかしようと頑張っているんだけど、無理みたいなのよ。だから援助⑥してあげなくちゃいけないでしょう。

そうだな、家族なのだから、できる限りのことをしてみんなで頑張らないとな。それから、自分たちで努力して、収入を増やさないといけないな。①、②

そうよ。あなたは営業が仕事なんだから、もうちょっと頑張つてちょうだい。そうすれば給料が増えるでしょう。…税金を上げる

うん、そのとおりだな。でも収入だけでなく支出を減らすことも大事だ。電気や水道などの節約は当然だし、車も軽自動車にするとか、古いものでも買い換えるのではなく修理をしながら大事に使っていくことだな。

将来のためには仕方ないことだと思っわ。

よし、みんなが元気で自立した生活が送れるように頑張ろう。

★地方債について

借金返済は、家計でも町の財政でも大きなウエイトを占めるものです。現在町では借金を減らすため、地方債を借りるときは有利なもの（返済金に対し補てん制度がある）以外は、極力借りない方針でいます。（抑制）

◆町（の財政運営）では町税の収納に力を入れることは当然ですが、収入増に向けた取組として、企業誘致・宅地造成などを進めています。また、国や県の補助金を活用し効率的な財政運営を行うことを心掛けています。

◆家計では給料・パート収入のほかに、借入金などで収入の確保をしていると思います。それでも足りない場合は、貯金の取り崩しなどでやりくりしていませんか。さらに収入を増やす手立てを考えているのではないのでしょうか。

3. 収入の確保・増

2. お金の使い道

◆家計でも日常生活のうち電気や水道、あるいは食費なども支出の節約に心掛けていませんか。

◆町（の財政運営）でも電気・水道、燃料費、紙などの物件費をはじめとする経費の削減に努めるとともに、職員の人件費についても、定員管理計画等に基づき抑制を図っています。

◆家計でも医療費や借金の返済などは、節約できるものではありません。限られている中では、優先順位を付けた上で買い物をしています。

◆町（の財政運営）でも総合計画を基本に実施計画を作成して、事業の選択と集中に努めています。事業効果の高いものから、優先順位を付けて実施しています。（費用対効果）



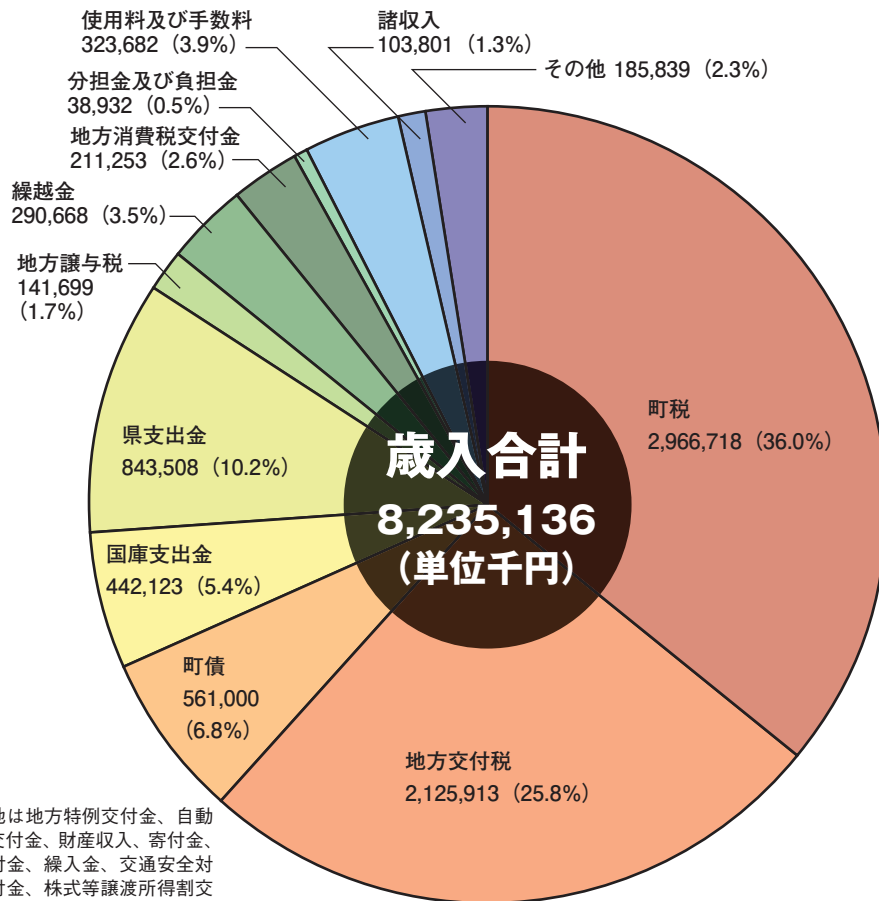
お問い合わせ

まちづくり政策課
電話・有線 41-1111

普通会計

実質収支で2億3,465万1千円の黒字となりました。(一般会計228,753,279円、有線放送特別会計5,897,393円) 厳しい財政状況の中で、「協働のまちづくり」の推進とともに、事業の選択、経費の節減など町民のみな

んのご理解ご協力の結果といえます。 人件費、施設の維持経費を中心に削減を行い、次年度以降の財源確保のために本年は1億2,937万7千円を基金に積み立てました。



歳入その他は地方特例交付金、自動車取得税交付金、財産収入、寄付金、利子割交付金、繰入金、交通安全対策特別交付金、株式等譲渡所得割交付金、配当割交付金、国有提供施設交付金の合計です。

歳入

歳入決算額は82億3,513万6千円で前年度に比べ3億7,671万7千円、4.8%の増となりました。主な原因は、災害復旧に係る県補助金が増えたことによります。

◆町税

町税は最も重要な財源で、歳出総額の約37%を占めています。前年度に比べ3億8,685万6千円、15.0%の大幅な増となりました。これは、個人町民税が税源移譲により約2億4,000万円伸びたことが主な要因です。町税には個人・法人町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税、入湯税、都市計画税があります。

◆地方交付税

所得税、法人税等の国税のうち、一定の基準により国が地方公共団体に交付する税をいいます。この制度は、地方公共団体の財源の不均衡を調整し、どの地域に住む住民にも一定の行政サービスを提供できるように財源を保障しているものです。交付税は、制度改正等により年々減少しており、前年度に比べ2億3,661万1千円10.0%の減となりました。

◆国庫支出金

国が行うべき事業を町へ委託する場合や、町が行う事業に対して一定の割合で国が補助する場合に交付されるものです。公共土木施設災害復旧費の負担金が増となったことなどから、前年度に比べ7,369万4千円20.0%の増となりました。

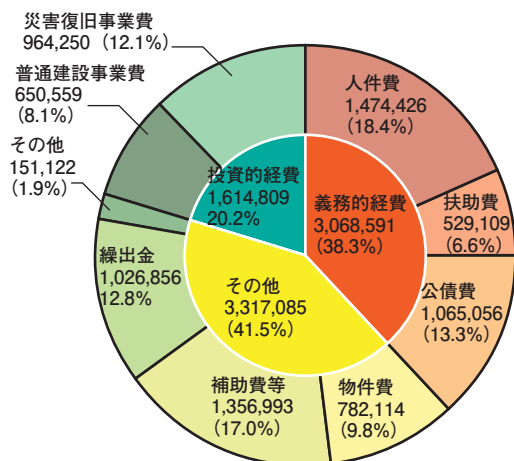
◆町債

建設事業などで多額の財源を必要とするとき、一定のルールのもとに借り入れる重要な財源です。災害復旧、林道、道路整備などの財源として借入を行いました。町債の額は、前年度に比べ7,980万円12.5%の減となりました。

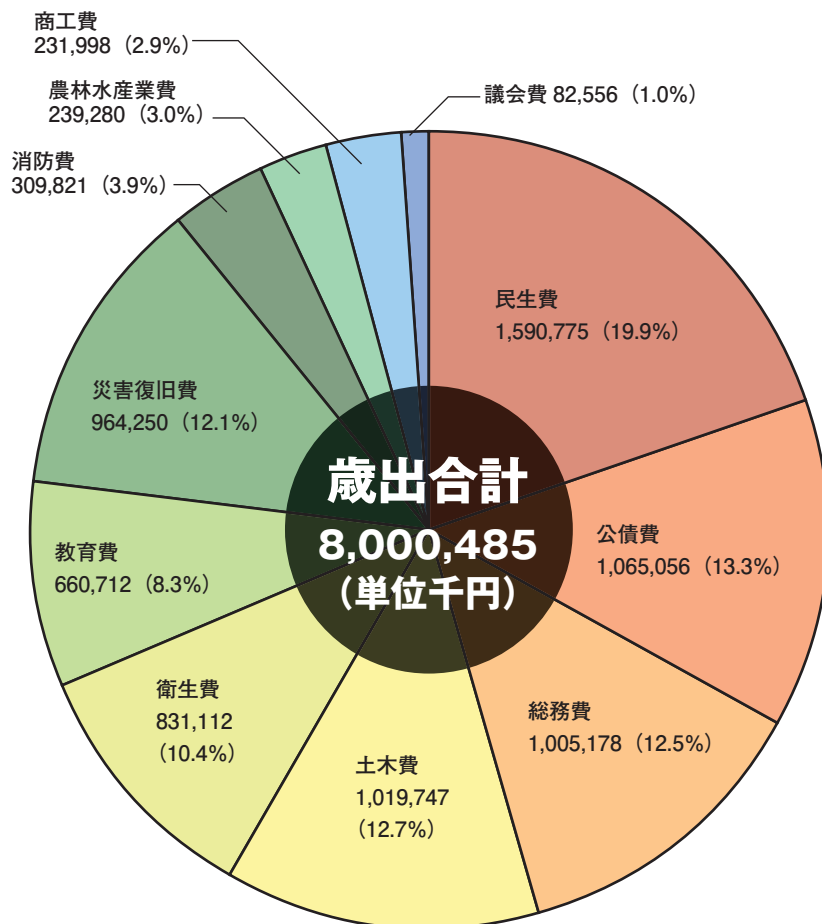
また、平成19年度末の町債の残高は68億1,704万3千円となっています。平成16年度をピークに減少しており、前年度比3億7,468万2千円の減となっています。

◇普通会計

会計区分は全国の各地方公共団体によってその範囲が異なり、財政状況などの比較が困難なため、一定の基準で会計を区分しなおしたものを普通会計といたします。使用料や保険料で運営されるのが原則の上下水道事業や国民健康保険事業は普通会計には属しません。辰野町の場合は、一般会計に有線放送特別会計を加えた額が普通会計となります。



性質別歳出 8,000,485 (単位千円)



◆歳出

歳出決算額は80億48万5千円で前年度に比べ4億3,273万6千円5.7%の増となりました。主な原因は、災害復旧事業費の大幅な増によるものです。

主な事業は次のとおりです。

●一般会計・特別会計及び企業会計の19年度決算金額 (単位: 千円)

区 分	歳入総額	歳出総額	繰越明許	実質収支
一般会計※	8,181,972	7,953,219	0	228,753
簡易水道	10,868	9,073		1,795
小野簡易水道	48,392	47,057		1,335
公共下水道	1,064,274	1,009,876		54,398
特定環境保全公共下水	145,837	134,905		10,932
農業集落排水処理施設	106,328	100,940		5,388
国民健康保険	2,108,335	2,081,253		27,082
第一診療所	8,491	7,362		1,129
川島診療所	5,388	4,781		607
老人保健医療	2,123,041	2,129,736		△ 6,695
介護老人保健施設	261,373	250,319		11,054
有線放送※	73,722	67,824		5,898
介護保険	1,288,692	1,268,758		19,934
特別会計の計	7,244,741	7,111,884	0	132,857
上水道事業	391,168	361,066		30,102
町立辰野総合病院事業	1,823,738	1,960,327		△ 136,589
企業会計の計	2,214,906	2,321,393	0	△ 106,487

※一般会計と有線放送会計の合計が普通会計となりますが、有線放送会計から一般会計へ支出した12,000千円と、訪問看護ステーション事業に係わる8,558千円は除かれるため、普通会計の決算額とは一致しません。

◆基金

町が大きな事業を行うときは、単年度に多額な資金が必要となります。町民生活に支障を及ぼさないように大きな事業を行うための蓄えが基金です。平成19年度末29億3,799万453円となっています。

主な基金の積立状況 (普通会計)

名 称	金 額
財政調整基金	11億9,520万9,808円
減債基金	1億7,381万1,163円
地域福祉基金	2億6,700万0,000円
教育振興基金	1億 90万4,868円
町営住宅整備基金	1億7,222万9,429円
庁舎等建設基金	8,214万2,474円
土地開発基金	4億8,622万4,903円
その他の基金	4億6,046万7,808円



総務費

行政運営 企画 財政 戸籍 税務 選挙 統計 都市交流など

■参議院通常選挙、長野県議会議員、

辰野町議会議員選挙費 合計 29,108 千円

■防災ハンドブック家庭保存版 1,806 千円

民生費

社会福祉 高齢者福祉

児童福祉 障害者福祉

生活保護 年金

■児童手当 162,495 千円

■障害者居宅生活・施設訓練支援扶助費 139,670 千円



衛生費

保健 環境 墓地 清掃 など

■辰野病院運営補助金及び企業債元金補助 300,000 千円

■塵芥処理負担金 196,826 千円



農林水産費

農林業振興 農業委員会 土地改良事業 地籍調査

■元気な地域づくり交付金事業大日尻地区 12,409 千円

■西部線林道負担金 10,500 千円



商工費

商工業振興 観光

■商工業誘致及び振興負担金補助金 144,279 千円

■ほたる祭り負担金 3,000 千円

平成 19 年度実施の 主な事業



土木費

道路整備 道路管理 河川管理 都市計画 公園 町営住宅

■町道道路舗装事業町道 1 号線他 8,108 千円

■下水道事業繰出金 481,615 千円



消防費

消防団 消防施設費など

■辰野消防署伊那消防負担金 229,010 千円



教育費

学校教育、社会教育、美術館、文化財など

■各小中学校改修工事 11,011 千円

■体育施設改修工事 4,526 千円



災害復旧費

平成 18 年度 7 月豪雨災害復旧事業 (繰越事業)

■林道災害復旧事業工事請負 西部線他 458,829 千円

■農業施設災害復旧事業 74,086 千円

平成19年度決算に基づく財政健全化判断比率及び資金不足比率をお知らせします。

平成19年6月に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が公布されました。この法律は、地方公共団体の財政の健全性に関する指標の公表制度を設け、その比率に応じて財政の早期健全化及び財政の再生等に必要となる行財政の措置を講ずることにより、地方公共団体の財政の健全化に資することを目的としています。

計画策定義務等を含めた全体の法律の施行は平成21年4月ですが、財政の健全性に関する指標の算定、議会報告及び公表については、平成20年4月から施行されました。

公表することとなるのは、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率（以下「健全化判断比率」といいます。）並びに⑤資金不足比率です。

健全化判断比率のうちひとつでも早期健全化基準以上となった場合は、財政健全化計画を、また、資金不足比率が経営健全化基準以上となった場合は、経営健全化計画を策定することになります。さらに財政再生基準以上となった場合は、財政再生計画を策定することになります。

辰野町の健全化判断比率及び資金不足比率は、下表のとおりとなりましたのでお知らせします。

指標は全て早期健全化基準、財政再生基準、経営健全化基準を下回り、健全財政を維持していると判断されますが、より一層健全化に向けて財政運営をまいります。

◆健全化判断比率

指標名	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
辰野町	—	—	20.7	102.9
早期健全化基準	14.66	19.66	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	40.00	35.00	

実質赤字比率及び連結実質赤字比率の欄は赤字決算ではないため「—」で表示しています。

◆資金不足比率

特別会計の名称	辰野町	経営健全化基準	備考
辰野町上水道事業会計	—	20.0	全ての会計において、資金不足額がないため「—」で表示しています。
町立辰野総合病院事業会計	—		
辰野町簡易水道特別会計	—		
辰野町公共下水道特別会計	—		
辰野町特定環境保全公共下水道特別会計	—		
辰野町農業集落排水処理施設特別会計	—		

用語の解説

1. 実質赤字比率

一般会計等（当町の場合一般会計及び有線放送特別会計をいいます。）の実質収支額の合計額が赤字となった場合、標準財政規模（※1）に対する赤字の割合をいいます。

※1 標準財政規模Ⅱ標準税収入額等（町税や地方譲与税など）＋普通交付税＋臨時財政対策債発行可能額
平成19年度標準財政規模Ⅱ5,561,494千円

2. 連結実質赤字比率

一般会計と公営企業会計を除く特別会計の実質収支額及び公営企業会計の資金剰余（不足）額の合計が赤字となった場合、標準財政規模に対する赤字額の割合をいいます。

3. 実質公債費比率

一般会計等が負担する地方債の元利償還金、債務負担行為及び特別会計等への繰出等に含まれる地方債の元利償還金相当額（準元利償還金といいます。）の合計額の標準財政規模に対する割合をいいます。（3カ年平均）

4. 将来負担比率

一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合をいいます。

5. 資金不足比率

公営企業会計に係る資金不足額（※2）の事業規模に対する割合をいいます。

※2 資金の不足額（の求め方）

法適用企業Ⅱ（流動負債＋建設改良費以外の経費の財源に充てるために起

こした地方債の現在高―流動資産）
―解消可能資金不足額

法非適用企業Ⅱ（繰上充用額＋支払繰延額・事業繰越額＋建設改良費以外の経費の財源に充てるために起こした地方債の現在高）―解消可能資金不足額

6. 早期健全化基準（イエローカード）

健全化判断比率のひとつでも早期健全化基準を上回ると、①財政健全化計画の策定（議会の議決）と公表及び外部監査の要求が義務付けられ、②策定計画の実施状況を毎年度議会に報告して公表し、③早期健全化が著しく困難と認められるときは知事が必要な勧告を行うこととされています。

7. 経営健全化基準（レッドカード）

公営企業会計における早期健全化基準に相当するもので、各公営企業会計の資金不足比率がこれを上回れば、経営健全化計画の策定が義務付けられます。

8. 財政再生基準

財政再生基準を上回ると、①財政再生計画の策定（議会の議決）と公表及び外部監査の要求が義務付けられ、②財政再生計画は総務大臣の同意を求めることができ（※3）。また、③策定計画の実施状況を毎年度議会に報告して公表し、④財政運営が計画に適合しないと認められる場合等においては総務大臣から予算の変更等が勧告されます。

※3 財政再生計画に対する総務大臣の同意がなければ災害復旧事業債等を除き地方債の発行が制限されます。

平成 20 年度上半期 (4 月～9 月)

町の財政状況を公表します

(平成 20 年 9 月 30 日現在)

歳入歳出の総括

予算現額……73 億 9,509 万円

収入済額……38 億 3,752 万 9 千円

執行率……51.9%

支出済額……31 億 2,607 万 6 千円

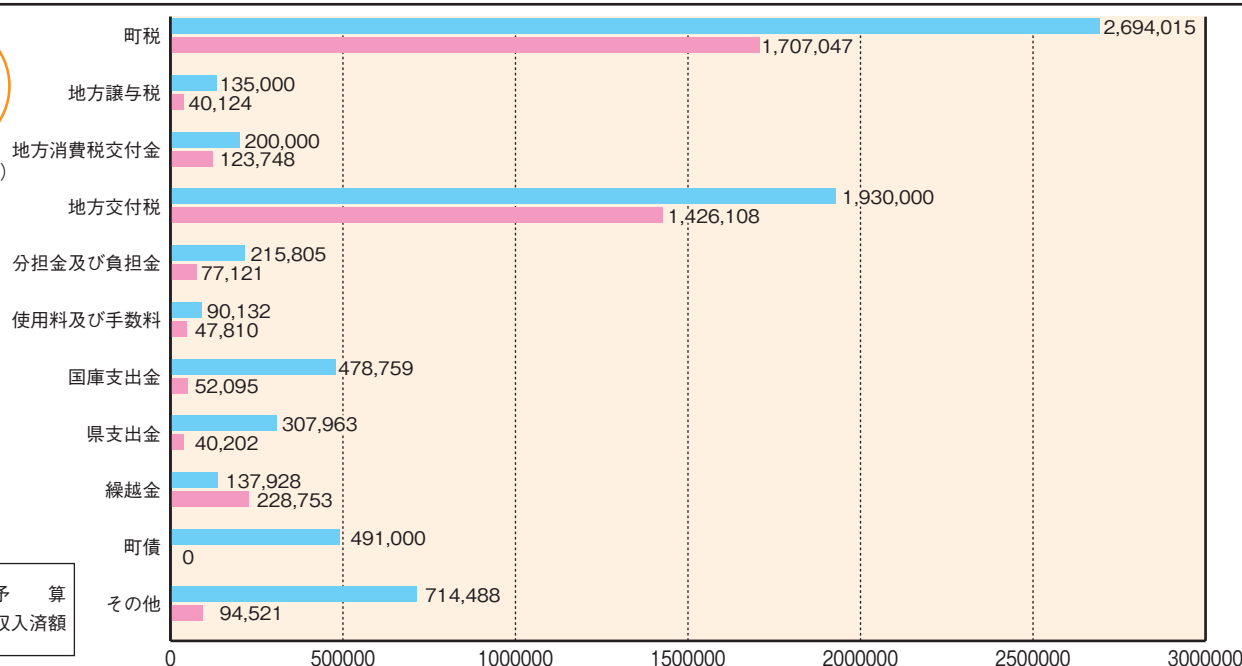
執行率……42.3%

■一般会計

平成 20 年度の一般会計予算は 5、6、7、9 月に補正を行い、9 月末現在で歳入歳出 73 億 6,191 万 6 千円となっております。主な補正内容は、介護予防センター建設事業、地域活動支援センター増設工事、町民体育館給水工事及び不妊治療助成金等であります。なお、予算現額には今村介護予防センター建設に係わる繰越分 3,317 万 4 千円（繰越明許費）が含まれています。

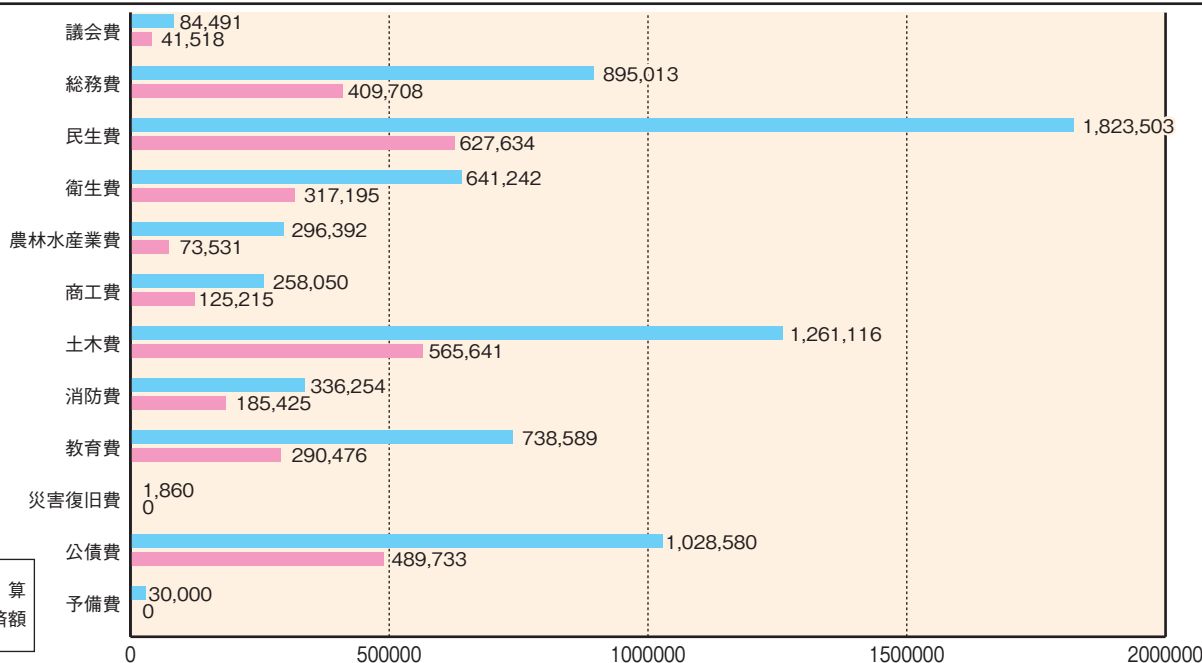
歳入

(単位：千円)



歳出

(単位：千円)



■特別会計

平成20年度の特別会計の予算は、5月に介護保険特別会計及び老人保健医療特別会計、9月に公共下水道特別会計、農業集落排水処理施設特別会計、国民健康保険特別会計、介護老人保健施設特別会計及び有線放送特別会計がそれぞれ補正を行い9月末現在の執行状況は次のとおりです。

特別会計

(千円)

特別会計名	予算額	収入済額	執行率	支出済額	執行率 (%)
簡易水道	10,344	5,138	49.7%	2,811	27.2%
小野簡易水道	50,024	23,100	46.2%	23,440	46.9%
公共下水道	1,532,431	596,960	39.0%	575,077	37.5%
特定環境保全公共下水道	127,621	53,247	41.7%	48,188	37.8%
農業集落排水処理施設	109,919	15,794	14.4%	43,502	39.6%
国民健康保険	2,083,988	699,265	33.6%	836,695	40.1%
国保第一診療所	7,560	3,466	45.8%	2,613	34.6%
国保川島診療所	4,865	2,234	45.9%	1,766	36.3%
後期高齢者医療特別会計	225,063	76,703	34.1%	90,175	40.1%
老人保健医療	389,258	171,945	44.2%	204,092	52.4%
介護老人保健施設	254,279	81,702	32.1%	111,330	43.8%
有線放送	73,882	39,655	53.7%	22,009	29.8%
介護保険	1,411,473	541,397	38.4%	530,420	37.6%
合 計	6,280,707	2,310,606	36.8%	2,492,118	39.7%

主な基金の積立状況 (特別会計)

名 称	金 額
国民健康保険支払準備基金	1 億 4,627 万 4,992 円
特定環境保全公共下水道事業財政調整基金	1 億 1,442 万 5,539 円
公共下水道事業財政調整基金	3 億 809 万 7,857 円
介護給付基金	1 億 3,260 万 9,936 円
小野簡易水道財政調整基金	2,119 万 6,974 円



■企業会計

辰野町には、地方公営企業法の適用を受ける会計が2つあります。上水道事業会計と辰野総合病院です。9月末現在の執行状況はそれぞれ次のとおりです。

上水道事業

(千円)

企業会計	収入予算額	収入済額	執行率 (%)	支出予算額	支出済額	執行率 (%)
収益的収支	363,121	178,905	49.3%	363,121	84,701	23.3%
資本的収支	6,500	5,750	88.5%	168,775	39,139	23.2%

町立辰野総合病院事業

企業会計	収入予算額	収入済額	執行率 (%)	支出予算額	支出済額	執行率 (%)
収益的収支	2,141,088	582,801	27.2%	2,141,088	701,023	32.7%
資本的収支	522,155	0	0.0%	581,733	64,752	11.1%

心の豊かさを
大切に作る住まいづくり

技あり半世紀

新築・リフォームのご相談承っております

松田建設株式会社

松田一級建築士事務所

本社：〒399-0425 長野県上伊那郡辰野町樋口1787
TEL0266-41-0033 FAX0266-41-4819
URL <http://www.matsudakensetsu.co.jp>
E-mail matsuda@matsudakensetsu.co.jp

ISO9001・2000
認定取得

JAB
JABCO

**忘・新年会
宿泊プラン**

レストラン陽 エルボン辰野

ご宴会 + ご宿泊

お得なプランです。詳しくはお問い合わせください。

ビジネスホテル
エルボン辰野

荒神山公園入口
TEL.0266-44-1100

地元の皆様もお気軽に
ご利用ください。

地元の方のご親族の集りの
ご宿泊などにもご利用いた
だけます。

また、カジュアルレストラ
ン「陽・HARU」は、お食
事(ランチあり)・喫茶・
居酒屋と、地元の皆様の憩
いの場でもありますので、
是非一度お越しください。

シングル **4,980円**
ツイン **8,760円**
和室(2人) **8,760円**

エルボン辰野内
カジュアル
レストラン 陽・HARU

◇お食事・喫茶・居酒屋 11:00~23:00
TEL.0266-43-3157